



地域住民に長く愛される公民館に 町四公民館落成式

平成26年度から始まった朝日ヶ丘団地建替え事業。町営住宅100戸、団地内道路や公民館、公園の整備も終了し、残るは既存町営住宅の解体のみとなりました。5月10日には行政区の役員や組長ら関係者による町四公民館落成式が開かれました。最初に寺西町長や畠田学行政区長らによるテープカットが行われ、落成を祝して町四地区に在住の河野佳文さんが主催する天降太鼓保存会による和太鼓の演奏や岡村都一さんによる津軽三味線が披露されました。式典で畠田区長は「この公民館が地域住民の交流の場であるとともに、学びや支え合いの拠点として重要な役割を担っていくものと期待しています」と話していました。

↓天候に恵まれた落成式で、新築の公民館の前で寺西町長・畠田区長(前列中央)を中心に記念撮影



木とあそび木の温もりに触れた2日間 木のおもちゃキャラバン2026春

英彦山スロープカー花駅2階で5月16日から2日間、木のおもちゃキャラバンが開催され、約200人が訪れました。たくさんの木のおもちゃの中で人気だったのが、厚さ・幅・長さの比率が1:3:15で同じサイズに作られたカプラという積み木を高く積み上げ一斉に倒す「ナイアガラの滝」で、多くの児童が挑戦していました。



↑女の子が入る脱出不可能な円柱もカプラを使用しています

掘って味わう！里山の春の恵みを満喫 たけのこで楽しもう体験イベント

4月25日、樹田にぎわいづくり実行委員会が主催して「樹田名産たけのこで楽しもう体験イベント」が開催され、4家族9人が参加しました。たけのこを掘る・皮をむく・ゆでる・食べるまでがセットになった体験型イベントで、参加した児童たちはくわを上手に使い50キロほどのたけのこを収穫し、美味しく食べていました。



↑急な斜面に生えたたけのこも、上手に掘り起こせました

総会で防犯を学び、音楽を楽しむ シニアパワーアップ塾総会

シニアパワーアップ塾の総会がオークホールで4月22日に開かれました。総会后、田川警察署による特殊詐欺防犯の研修が行われ、演劇を通して事例の紹介があり、身近な問題として理解が深まりました。最後は警察音楽隊によるミニコンサートも開催。懐かしい楽曲が生演奏で披露され、楽しいひとときを過ごしました。



↑ニセ電話詐欺対策を学んだあと音楽を楽しみました

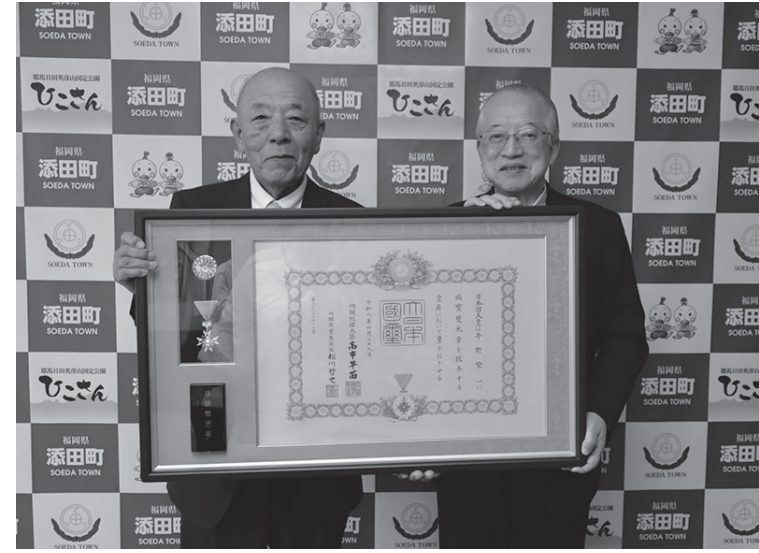
彦山川の水環境と景観を守るために 遠賀川一斉清掃

春の遠賀川一斉清掃期間の5月17日、歓遊舎ひこさん前の彦山川河川敷で、清掃ボランティアが行われました。地元の野田行政区の皆さんをはじめ、添田町婦人会、添田町社会福祉協議会、アカザを守る会、ヤマト運輸、町職員のボランティア約60人が河川敷などに捨てられたごみなどを約1時間にわたり拾い集めました。



↑清掃中の様子。ごみのポイ捨てはやめましょう

↓「栄誉ある叙勲を受章でき、今まで関わってくださった皆さんに感謝します」と話す平野さん



平野賢一さんが瑞宝双光章を受章 危険業務従事者叙勲

昭和46年に福岡県警察官を拝命し、平成24年まで約40年間、福岡県警に勤められた平野賢一さん(岩瀬)が瑞宝双光章を受章しました。飯塚市出身の平野さんは、最初の赴任地が当時の添田警察署だったことが縁で添田町に移住し、田川警察署や豊前警察署などの勤務を経験。「不法在留の外国人取締りなど外国人犯罪を扱う外事課の勤務が長く、私服警官としての勤務がほとんどでした」と話してくれた平野さん。退職後は嘉穂鞍手保健福祉環境事務所などに再就職し、「業務で山中に行くことが多く、県警退職時に約100キロあった体重を1年で約30キロ落としました。これからも健康に気をつけ過ごします」と笑顔で話してくれました。

躍動感あふれる神幸祭の木版画 佐野至さん作「英彦山春祭」木版画寄贈

昭和22年から当時の小石原中学校、秋月中学校、甘木中学校で教壇に立ち技術科や美術科などを指導し、平成22年に亡くなるまで多くの木版画を制作した佐野至さんの子、佐野命子さんが至さんの作品を添田町に寄贈しました。寄贈された版画、「英彦山春祭」は英彦山神宮神幸祭で神輿を担ぐ男衆や、その周りを練り歩く人々を表した躍動感溢れる作品で、寄贈式で命子さんは「父が亡くなったあと、偶然見つかった作品です。父は英彦山に思い入れがあったようで何度も通っていて、父の気持ちが入ったような感じがしています」と町長に話し、町長も「いただいた作品を大切に、多くの人に見てもらいます」と応えていました。

↓寄贈された「英彦山春祭」は英彦山スロープカー花駅2階に展示しています



九州一円から上中元寺に釣り人たちが集合 上中元寺ヤマメ釣り大会

4月26日、上中元寺公民館横の中元寺川を舞台にヤマメ釣り大会が開催されました。6時30分からスタートしたヤマメ釣りは大人44人、子ども7人が参加、10時からはヤマメのつかみ取り大会も開かれ33人の児童がびしょ濡れになりながら参加しました。総合優勝は宮崎県都城市から訪れ、23匹を釣った松本末利さんでした。



↑中元寺川は早朝から多くの釣り人でにぎわいました

「大きくなってね」笑顔でヤマメ稚魚を放流 添田遊釣会・くるみ保育園

下落合地区の彦山川河川敷で5月8日、くるみ保育園の園児がヤマメの稚魚を放流しました。添田遊釣会(米木一雅会長)が彦山川で環境保全啓発などを目的に約1万匹のヤマメの稚魚を放流するうち、園児がこの日約2千匹を放流。参加した園児は「ヤマメはかわいかった。大きくなってね」と笑顔で話していました。



↑川面を元気に泳ぐヤマメに「元気でね」と声をかける園児